

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成24年 6月 日

愛知県知事 殿

提出者
住 所 名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル
氏 名 日本国土開発株式会社 名古屋支店
支店長 上嶋 健司
電話番号 052-971-0625

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本国土開発株式会社 名古屋支店
--------	------------------

事業場の所在地	名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル
---------	-------------------

計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
------	----------------------

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

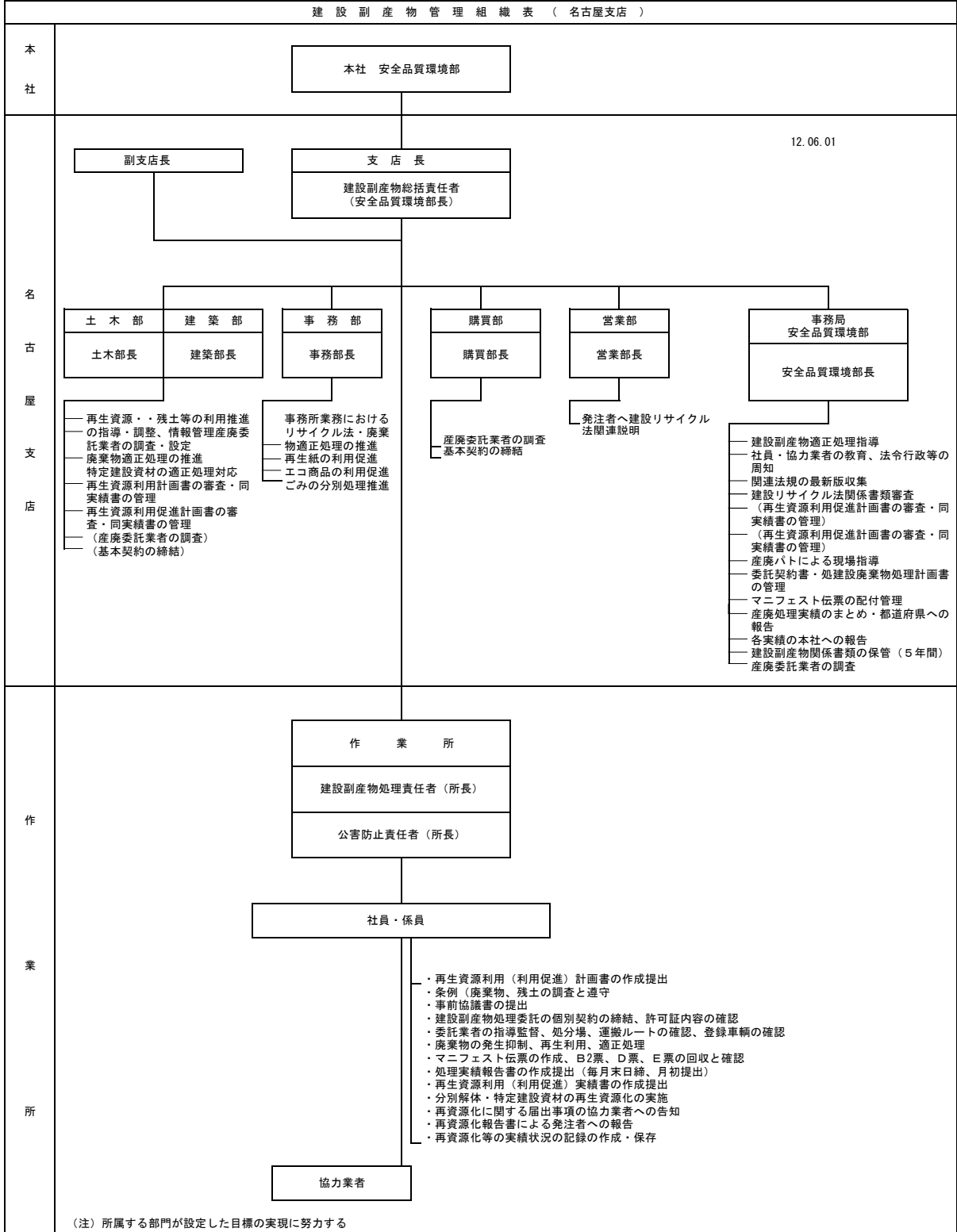
① 事業の種類	総合建設業
---------	-------

② 事業の規模	県内全域 4,030百万円(元請完成工事高)	政令市を除く県内全域 748百万円(元請完成工事高)
---------	---------------------------	-------------------------------

③ 従業員数	104人
--------	------

④ 産業廃棄物の一連の処理工程	別紙
-----------------	----

建設副産物管理組織表（名古屋支店）



産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物種類毎の委託契約を結ぶ。

確認事項

- ・産業廃棄物の種類毎の運搬・処理の許可証の確認をする。
- ・委託する産業廃棄物の種類・数量を確認し合う。
- ・運搬委託業者と処分業者が違うときは、それぞれと2者契約をする。
- ・委託業者の事業の範囲と受託者に支払う料金を決定し確認し合う。
- ・運搬委託業者の能力を確認する為、登録運搬車輛の種類・台数の確認をする。
- ・運搬経路の経路図と積み替え保管をするのかを確認する。
- ・処理委託業者に処理方法と処理能力は大丈夫かを確認する。
- ・廃棄物の中間処理後の処分方法・処分先(再生)の方法、再委託先等を明確にして確認する。
- ・委託契約先を年1回の頻度で現況確認をする。
- ・委託契約の有効期間を確認する。

産業廃棄物の処理の発生

確認事項

- ・manifestの発行時に運搬車輛の産業廃棄物の運搬車輛表示・許可証の写しを確認をする。
- ・A票の控えを残し運搬業者に残りをわたす。
- ・運搬業者からのB2票の返送を確認し5年間保存する。
- ・中間処分業者からのD票の返送を確認し5年間保存する。
- ・中間処分業者は一次E票の送付を確認し5年間保存する。

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告

- ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書は、排出事業者が前年度1年間に交付したmanifestの交付状況等について、事業所ごとにまとめて、毎年6月30日までに愛知県知事に提出する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成23年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート塊)	がれき類(アスファルト塊)	混合物	木くず
	排出量	3495t	1257t	181t	222t
(これまでに実施した取組) ・発注者との事前協議を行い調整し発生量の抑制に努め、分別を徹底し再生利用につなげる。					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート塊)	がれき類(アスファルト塊)	混合物	木くず
	排出量	2500t	700t	90t	100t
(今後実施する予定の取組) ・発注者との事前協議を行い調整し発生量の抑制に努め、分別を徹底し再生利用につなげる。					

①現状	【前年度(平成23年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	排出量	47t	2t	6t	39t
(これまでに実施した取組) ・発注者との事前協議を行い調整し発生量の抑制に努め、分別を徹底し再生利用につなげる。 ・重ねて使用できる様に資材を選定し発生量の抑制に努める。					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	排出量	40t	2t	3t	30t
(今後実施する予定の取組) ・発注者との事前協議を行い調整し発生量の抑制に努め、分別を徹底し再生利用につなげる。 ・重ねて使用できる様に資材を選定し発生量の抑制に努める。 ・包装材の簡素化を行う。					

①現状	【前年度(平成23年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥	特管廃棄物の混合物	
	排出量	2t	1752t	5t	
(これまでに実施した取組) ・発注者との事前協議を行い調整し発生量の抑制に努め、分別を徹底し再生利用につなげる。 ・重ねて使用できる様に資材を選定し発生量の抑制に努める。					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥	特管廃棄物の混合物	
	排出量	2t	1500t	0t	
(今後実施する予定の取組) ・発注者との事前協議を行い調整し発生量の抑制に努め、分別を徹底し再生利用につなげる。 ・重ねて使用できる様に資材を選定し発生量の抑制に努める。					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>産業廃棄物の種類</p> <ul style="list-style-type: none">・がれき類(アスファルト塊)、がれき類(コンクリート塊)、金属くず、建設汚泥、廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ガラス・陶磁器くず、廃石膏、がれき類(その他)と11種類があり分別収集に努め、混合しないように分類したコンテナ等にまとめる。
②計画	<p>産業廃棄物の種類</p> <ul style="list-style-type: none">・がれき類(アスファルト塊)、がれき類(コンクリート塊)、金属くず、建設汚泥、廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ガラス・陶磁器くず、廃石膏、がれき類(その他)と11種類があり分別収集に努め、混合しないように分類したコンテナ等にまとめる。 <p>(現場の状況に合わせて)</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊)	がれき類(コンクリート塊)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊)	がれき類(コンクリート塊)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊)	がれき類(コンクリート塊)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊)	がれき類(コンクリート塊)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊)	がれき類(コンクリート塊)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊)	がれき類(コンクリート塊)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
①現状	【前年度(23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊)	がれき類(コンクリート塊)
	全処理委託量	1257 t	3,495 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1257 t	3,495 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工事の事前の打ち合わせより、施主・協力会社等と排出量の抑制に取組み発生量を抑え、発生した廃棄物を分別し排出した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト塊)	がれき類(コンクリート塊)
	全処理委託量	1000 t	3,000 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1000 t	3,000 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 工事の事前の打ち合わせより、施主・協力会社等と排出量の抑制に取組み発生量を抑え、発生する廃棄物を分別し排出する。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	木くず
	全処理委託量	181 t	222 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	181 t	222 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工事の事前の打ち合わせより、施主・協力会社等と排出量の抑制に取組み発生量を抑え、発生した廃棄物を分別し排出した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	木くず
	全処理委託量	100 t	150 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100 t	150 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 工事の事前の打ち合わせより、施主・協力会社等と排出量の抑制に取組み発生量を抑え、発生する廃棄物の分別収集を進める事により、再生利用の向上を図る。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(23年度)実績】			
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	
全処理委託量	47 t	2 t	
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	
再生利用業者への処理委託量	47 t	2 t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
(これまでに実施した取組) 工事で使用する材料で、転用回数が多い資材を使用し排出量の抑制に努めました。			
【目標】			
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	
全処理委託量	40 t	2 t	
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	
再生利用業者への処理委託量	40 t	2 t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
(今後実施する予定の取組) 型枠材で鋼製に替えられる所については、替えて搬出量の抑制に努める。 工事で使用する材料で、転用回数が多い資材を使用し排出量の抑制に努めます。 資材の梱包材の簡素化を図る。			

①現状

②計画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	6 t	39 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6 t	39 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ガラス・陶磁器くずは分別収集を徹底し、再生利用の促進に努め、排出物抑制に貢献した。 金属くずは分別収集をして、再生利用をした。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	5 t	30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	5 t	30 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ガラス・陶磁器くずは分別収集を徹底し、再生利用の促進に努める。 金属くずは分別収集をして、再生利用をする。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥
	全処理委託量	2 t	1752 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2 t	1752 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃石膏についてはメーカー回収に努め再生利用の促進に貢献した。 建設汚泥は委託中間処理業者により、脱水を行う事で再生利用が出来た。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設汚泥
	全処理委託量	2 t	1500 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2 t	1500 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃石膏についてはメーカー回収に努め再生促進に努める。 建設汚泥は委託中間処理業者により、脱水を行う事で再生利用促進に努める。		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1000トン以上の事業所ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 (当該事業所において現に行っている事業に関する事項)の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設ぎいの場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行う際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取り組みを記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入する。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができない時は、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しない事